三徳開教110年

# 法音

今月のご法話

## 感謝は究極のプラス思考です

平成29年 3月号 No.569

日蓮宗 法音寺

三徳開教110年

# 一人が一人を

## 是非一人は

是非一人は、仏となれる人に導きましょう。
法華経には、一人を導く功徳は広大であるとあります。
その一人が、他の人を導く功徳が又大きいのです。
ついに一人を導く人が仏となります。
一人を導く人が極楽に住む人となります。
一人一人が極楽に住む人、仏になるのです。

御開山上人御遺訓『おりにふれて』

# 月刊・法音

平成二十九年三月号［569］

■目次■


【信仰の指針】青春（せいしゅん） 1

【朝のこない夜はない】
感謝は究極のプラス思考です　山首　鈴木正修 2

特集記事　山首上人さまご講演『法音寺の福祉活動の歩み』 16

■春のお彼岸です 25
■有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 26
■特別企画・聖の教え（十五） 28
■とこのはの記　到彼岸 38
■読者の声　田中　裕（大阪支院） 42
のりのとも　西に東に　転法輪・支院だより 44
■法音寺のホームページが新しくなりました！ 79
■福祉のひろば　少子・高齢社会の中の日本の福祉 80
■福祉に生きる　昭徳会・児童養護施設駒方寮の実践 82
■日本福祉大学付属高校・創立60周年に向けて 92
■賛助員ご芳名 94
■幸せの種まき／編集後記 96
■連載まんが・ひまわり・51　マジック・アワー 97
■法音寺関連書籍のごあんない
■法音寺の社会福祉・教育事業


表紙題字・信仰の指針　山首上人さま

表紙写真・梅の花

掲載写真　表紙・信仰の指針・3～15頁・25頁：梅田雅臣氏撮影
2頁：加納将人氏撮影

信仰の指針

# 青春（せいしゅん）心に若さを持っていますか

日教区

モクレン

# 朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

# 感謝は究極のプラス思考です

『法音』1月号の「新年のご挨拶」で、アランの「上機嫌療法」について書かせていただきました。どんなことがあっても上機嫌に過ごすことが幸せへの近道だとアランは言っているのですが、「ただ堪忍するよりも、堪忍の上をいき、ぐっとこらえた上で、機嫌良くいきましょう。にこやかに堪忍しましょう。プラス思考でいきましょう」ということです。人間の思考にはプラス思考とマイナス思考があります。楽観的、悲観的と言い換えることもできます。プラス思考＝楽観的な人は寿命が長いとされています。

アメリカのケンタッキー大学の心理学のチームが、1990年に修道女を対象に調査をしました。平均年齢85歳の修道女180人が1930年に書いた自叙伝を検証したのです。修道院に入ったばかりの頃に「自分はこういう人生を歩んできました」「これからこういうふうになりたいです」と書いたものを読み、点数をつけました。プラス思考だなと思われる部分に加点、マイナス思考だと思われる部分を減点していくと、興味深いことがわかりました。

修道女というのは、厳格なキリスト教徒らしい生活をするわけです。お酒もたばこも嗜まず、とても健康的な生活をします。恋愛や結婚もしませんし、当然ですが子どもも産みません。そういう修道女の平均寿命は一般の人よりもかなり長いと言われていますが、この調査では、加点の多い明るい自叙伝を書いた修道女

の方が暗い自叙伝を書いた修道女と比べ、さらに寿命が10年程長いということがわかりました。調査をした大学の先生が言われています。

「禁煙によって延びる寿命はだいたい3〜4年とされているのを考えると、明るい世界観を持つことで10年の余命がプレゼントされるのは注目に値しよう」

なぜプラス思考は健康に良いのでしょう。以前あるお医者さんがテレビで「物事を明るく捉える人は心が若く、心が若いとそれにともなって肉体も若くなる」と言われていました。

アメリカの詩人・サミュエル＝ウルマンに「青春」という詩があります。これは非常に良い詩です。昭和天皇がマッカーサーと会見された部屋の壁に、この「青春」という詩の額が掛けられていました。マッカ

ーサーの座右の銘だったそうです。その一節をご紹介します。

「青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春というのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。（中略）人は信念と共に若く　疑惑と共に老ゆる　人は自信と共に若く　恐怖と共に老ゆる　希望ある限り若く失望と共に老い朽ちる」

まったくこの通りだと思います。

## プラス思考が肉体に活力を与える

少し前に富嶽三十六景で有名な葛飾北斎が、ＮＨＫ

の番組『先人たちの底力　知恵泉』で紹介されていました。北斎はアメリカの雑誌『LIFE』で、〝この１００年で最も偉大な業績を残した世界の人物１００人〟の中に、シェイクスピアやエジソンと並んで選ばれています。ヨーロッパの偉大な画家、モネやゴッホに多大な影響を与えたのが選出の理由のようです。

北斎のほとんどの代表作は70歳を過ぎてから描かれています。〝人生50年〟の江戸時代、北斎は90歳まで絵を描きました。６歳から絵を描き始め、19歳のときに浮世絵師・勝川春章の弟子になり、勝川春朗と名乗って歌舞伎役者の絵を描いていました。今でいうアイドルスターのブロマイドのようなものです。勝川派を離れた後は、江戸琳派の先駆者・俵屋宗理の弟子になり、江戸庶民の女性を描きました。その後、老中・松平定信が寛政の改革を行い、〝世の中の風紀を乱す絵

は一切禁止〟となったため、北斎は女性や歌舞伎役者の絵をやめて、小説の挿絵を描くようになりました。

北斎は70歳を過ぎた頃、次第に絵が上達していることを自覚して次のように言っています。

「70歳以前の絵は、取るに足りないものだった。73歳になった頃、鳥獣虫魚の骨格や草木の生れ出る様子をいくらかは悟ることができた。だから80歳になればより向上し、90歳になればさらに奥義を極め、１００歳で神の技を超えることができるのではないか。そして１１０歳でやっと点や線のすべてが生きているかの如く描けるようになるだろう」

よく〝若さを保つには食生活が大事だ〟と言われますが、北斎は蕎麦をよく食べました。絵を描くのに一生懸命で、食べる時間を惜しみ、いつも出前の蕎麦で食事を済ませていたのです。しかも、あまり寝なかっ

たそうです。寝る間を惜しんで絵を描いたのです。長生きには、一般の健康法よりも北斎のような矜持が大事なのかもしれません。

天保の改革では、芝居や絵が完全に禁止されました。商売ができず、生活に困った北斎は、闇で絵を描き、道端で売りました。たまたま通りかかった長野の小布施の豪商・高井鴻山が北斎の絵を気に入り、高値で買い上げました。さらに「金はいくらでも出すから、檀那寺の天井絵を描いてくれ」と依頼しました。北斎は江戸から長野の小布施まで、歩いて絵を描きに行きました。江戸―小布施間は往復５００キロです。描いては江戸に戻る生活を繰り返し、険しい中山道を４往復くらいして描き上げたそうです。北斎はその時、なんと83歳でした。

「１１０歳まで生きたら…」と言っていた北斎は90歳

で息を引き取りますが、そのときに残した言葉が「あと10年、いやせめて5年、生かしてくれ。そうすればまことの絵師になってみせる」だったそうです。

このような燃ゆる情熱が人間の肉体を引っ張るのではないでしょうか。

## 脳と菩薩行の関係

最近、脳科学者・岩崎一郎博士が書かれた『なぜ稲森和夫の経営哲学は人を動かすのか？』という本を読みました。岩崎博士は「人はどうしたら幸せになれるのだろう。それは脳の使い方にあるのではないか」と思ったことがきっかけで脳の研究を始められました。人が幸せになるときの脳の使い方について、アメリカのウィスコンシン大学に詳しく論じている論文があり

ました。それを知って岩崎博士は京都大学出身の優秀な研究者でしたが、すぐにウィスコンシン大学に留学をします。そこでまずわかったことは、〝脳には車でいうところのアクセルとブレーキがある〟ということでした。簡単に言えばアクセルがプラス思考で、ブレーキがマイナス思考です。前頭葉の左側にアクセル、右側にブレーキがあり、アクセルがどんどん働くと脳が幸せを感じ、ブレーキが働きすぎると〝うつ〟になるそうです。

ウィスコンシン大学では１０００人の脳の働きを調べたところ、アクセルの部分が活性化している人は幸せを感じているとわかったのですが、その中でも最も幸せを感じているのが、フランス人のマシュー・リカールという人でした。この人は、若い頃チベットに渡り、ダライ・ラマ法王のもとで得度をしました。その

後、通訳として法王について世界中を回り、この調査のときには40年修行した後でした。この人の脳は普段でも「幸せ脳」なのですが、あることをすると、普通の人の５００倍もの幸せ脳になるそうです。何をするのかというと、瞑想して人の幸せを祈るのです。この人が「みんなが幸せになりますように。そして世界が平和になりますように」と祈ると、普通の人よりもさらに５００倍幸せ脳になるのだそうです。要するに、他人の幸せを祈る「菩薩行」を考えるだけで脳が活性化するということです。プラス思考の一番は、「菩薩行を考えること」なのです。菩薩行を実際に行えば、もっと幸せになることは間違いありません。人の幸せを祈ると、自分はもっと幸せになるのです。

岩崎博士は次のように言われます。

「『菩薩精神』を持つことは、脳の健康に非常に良い。

認知症になりにくく、さらに寿命も長くなり、もし認知症の症状が出ても、その進行は遅くなる」

またカリフォルニア大学の研究グループと一緒に行った『脳はもともと利他的なのか、利己的なのか』という研究では、磁気刺激で脳を調べたところ、脳はもともと利他的だということがわかったのです。つまり人間には必ず『仏性』があるということです。

さらに〝菩薩行＝利他的な心を持って脳の活性化が進むと、未来のことがわかるようになる〟のだそうです。人間の脳には未来予測ができる感性がもともとあるそうです。杉山先生や御開山上人は先のことがよくおわかりになったと言われますが、菩薩行をずっと行っていくと、私たちもそうなる可能性があるのです。

また、これは一番ありがたいことですが、岩崎博士は脳はいくつになってもトレーニングによって成長す

ると言われています。筋力トレーニングを継続すれば、年をとっても筋肉がつくのと同じで、脳も鍛えれば必ず成長するというのです。〝70歳だから、80歳だから脳細胞は死んでいく〟ということはないのです。

## 最も有効な脳トレーニングは三徳の実践

脳を活性化させる一番簡単なトレーニング方法を紹介しましょう。それは指回しです。指を使うと脳は活性化します。これは東京大学の理学部と医学部を卒業し、医学博士・薬学博士である栗田昌裕博士が考え出されました。両手の5本の指先を合わせて、ふっくらとしたドームの形を作るのです。そして左右1本ずつ指の対を離して、互いにふれあわないように指を前回し・後ろ回しするのです。人差し指は簡単ですが、薬

指などはとてもむずかしいです。しかし、栗田博士によれば、これが脳の活性化にすごく良いそうです。私もやってみましたが、練習すると、だんだんできるようになります。

最後になりますが、岩崎博士によりますと日常の中で「感謝をすること」が脳の活性化を促し、「感謝の気持ちを表す言葉」が相手の脳の活性化を促進するそうです。結論的には、三徳の日々の実践が一番の脳トレーニングになるようです。

特集記事

平成28年度　日蓮宗全国社会教化事業協会連合中部地区・名古屋大会にて
山首上人さま　ご講演

演題

# 『法音寺の福祉活動の歩み』

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました、当山の住職をしております鈴木正修と申します。よろしくお願いいたします。

本日は全国遠近より当山へご参集賜りまして本当にありがとうございます。少しの間、この法音寺の福祉活動の歩みについてお話をさせていただきたいと思います。

法音寺の歴史は、明治42年に杉山辰子先生が「仏教感化救済会」という団体を創立されたことに始まります。仏教感化救済会とは、法華経と日蓮主義を以て世の人々を感化救済しようという趣旨の修養団体です。教化事業部門と社会事業部門の二つの部門があり、教化事業部門が現在の宗教法人日蓮宗法音寺となっております。そして社会事業部門が現在、社会福祉法人昭徳会、学校法人日本福祉大学となっているわけで

す。社会事業としまして、杉山先生は災害援助、今で言うボランティアですね、また貧民救済をしておられました。特に力を入れておられたのが、ハンセン病患者の救済です。

皆さまご存知のように、ハンセン病は明治・大正・昭和と長きにわたり非常に忌み嫌われた病気です。家族からハンセン病の患者が出ると、座敷を作って閉じ込めたり、家から追い出したり、戸籍から抹消することもあったという、非常にかわいそうな病気なのです。杉山先生は、「この病気の人が世の中で一番かわいそうだ。そういう人を助けてこそ、法華経の救済である」と言われ、各地の病院を数多く慰問して回られ、患者さんの救済に命をかけられました。その時に必ず法華経の教えを広められたのです。

また、杉山先生の弟子であります御開山桑山院日進上人も二十代初めに、先生の命を受け、九州の福岡にある生の松原療養所の主任として赴任しておられます。この時のことをよくご法話で話しておられました。当時は資金難と、社会からの冷たい目が向けられ、非常に苦労されたようです。私の祖母も一緒に行ったのですが、〝何回も自殺をしようとして、電車の線路に向かったこともある〟と聞いたことがあります。福岡から引き上げる時、残っていた物は何もなく、すべての財産を患者のために使い果たして帰ってこられました。「生涯で一番つらい別れが患者の方々との別れだった」と御開山上人はおっしゃっていました。その後、戦後に日蓮宗僧侶となって身延山に参詣した折、綱脇龍妙上

人の深敬病院で、当時別れた人たちに再会でき、「本当にうれしかった」と喜んでおられました。

## 不遇な子どもを育てることで法華経の精神がわかる

杉山先生がもう一つ力を入れられたことは、親のない子ども、不遇な子どもを育てることでした。「親のない不遇な子どもを育てることによって法華経の精神がわかる。本当の意味がわかる」と杉山先生は言われています。御開山上人はご法話の中で次のようにおっしゃいました。

「福岡・生の松原から名古屋へ帰りましたら、これからは親のない子どもを育てることになったわけです。親のない子を育てるのもいろいろやったわけですが、昭和8年には、子どもを虐待してはならないという法律ができたわけでありますが、その頃にやって来た子どもが13名ありました。法律によって送られてきた子の中には体中に36カ所も傷のある子もいます。歯も半分くらいが、一本ずつ折られた3歳くらいの子がいました。手足を毎日叩かれて、黒じみになっている子もいました。そういう子どもが本当にたくさん送られてきました。終戦直後には、浮浪児を120名預かり、現在は350名の子どもたちの面倒を見ております。そのようにして、ようやく本当の法華経の心を知ることができました。杉山先生の言われたことに間違いがなかったことがわかり、本当にありがたく思っている次第であります」

## 子どもの人格を尊重する

御開山上人の子どもを育てる方針は〝どんな小さな子どもでも、その人格を尊重する〟というものでした。まず、絶対に名前を呼び捨てにしない。必ず「さん・くん」をつける。子どもたちにはご自分のことを〝お父さん〟、保母さんのことを〝お母さん〟と呼ばせました。また、絶えず〝ほめる〟ということをされました。児童福祉の大会でも何度も講演をされたそうですが、その都度、「ほめてばかりではよくないのではないか」「たまには叱った方が、体罰を加えた方がよい場合もあるのではないか」という意見が出たそうです。その時に御開山上人は、「私は何千人という子どもを育ててきたが、体罰を加えてよくなった子は一人もいません」とおっしゃったそうです。必ずほめる。ほめるところがないと思ったら、何かをさせてほめればよい。その一つの方法として施設内に「向上箱」を設置されました。誰かがよいことをしたら、その子の名前を書いて向上箱に入れる。例えば「伊藤君がこういうよいことをしました。鈴木」のように、見つけた人の名前も書いて向上箱に入れます。月に一度、向上箱を開け、誕生日会に「伊藤君、よいことをしたね、ご褒美。鈴木くん、よく見つけたね、ご褒美」というようにされました。お互いによいところを見るように指導されていたのです。

余談ですが、泰山寮という重度自閉症者の施設があります。重度の自閉症というのは、まっ

たく言葉が通じないと言われていましたが、通じることが最近わかりました。クリスマスが近づく頃でした。ある職員が「そんな横着なことをしていると、君だけサンタさんは来ないぞ」と一人の男の子に言ったのです。するとその子は、職員の右手の親指に噛みついてきたのです。あっと思った瞬間にはもう指先がなかったそうです。男の子は職員の親指の先を噛み切ってしまいました。彼らは力の加減ができないのです。その話を聞いたとき、「嫌なことは通じるのだ」と感じました。言葉は通じなくても、注意されたり叱られたり、または貶されるような嫌なことはわかるのです。それと反対にほめ言葉もわかるのです。その後、施設長を中心に、職員の間で「とにかくほめて育てよう」と、御開山上人以来の教えを実行しようということになっています。

## 施設内学級や授産をスタート

泰山寮のような知的障がい者の施設が、他に二カ所あります。豊田市小原の小原学園と小原寮です。この小原学園の前身である八事少年寮が昭徳会の知的障がい児福祉の始まりです。戦後、名古屋大学医学部長・杉田直樹先生が、研究のため知的障がい児の施設を法音寺の近くで経営していらっしゃいました。杉田先生が定年退官で東京にお帰りになるとき、その施設を愛知県に移管しようとされましたが、愛知県からは「そういう施設を運営する前例がないし、資

金もない」と断られたそうです。たまたまその様子を見ていた愛知県の職員が「杉田先生、すぐ近くに鈴木修学さん（御開山上人）という方がいらっしゃるから、頼めば引き継いでもらえるかもしれませんよ」と声をかけました。杉田先生は御開山上人に頼みに来られ、御開山上人は二つ返事で引き受けられたということです。当時の法音寺も昭徳会も、あまりお金を持っていませんでした。ですから境内地を売って、八事少年寮の運営をされました。ただ運営するだけではなく、土地を拡充し、建物を新築されました。御開山上人の一つの理念なのですが、

「どんな人間も教えることによってよくなる。どんな人間も学ぶことによって人格が向上する」

ということで、今では養護学校として確立している施設内学級を川名中学校、八事小学校に依頼して始められたのです。それと「人は働くことによって喜びを得る。その働きによって人間的価値を高める」という信念で、今となってはあたりまえになりましたが、授産事業を始められました。

知的障がいのある子どもたちに机や椅子を作ることを教え、その机や椅子が日本福祉大学や立花高校（現・日本福祉大学付属高等学校）で使われました。これはデパートでも売られるような立派なものでした。昭和34年の社会事業世界大会で、世界中の方から「知的障がい児に職業指導をすることは非常にむずかしい。困難を極める。あきらめた方がよいのではないか」という意見があったようです。そこで御開山上人

は、「そんなことはありませんよ。八事少年寮の子どもたちは、日本福祉大学や立花高校で使う机や椅子を立派に作っています。その理由は、指導員が『真・善・美・聖』を教えているからです」と説明されました。この『真・善・美・聖』は、いろいろな解釈があると思いますが、御開山上人は次のように世界大会で語られました。

「『真』とは、どんな人も心を込めて一生懸命に仕事をすれば、立派な仕事ができる。それによって『善』・善根功徳が積まれる。『美』というのは、その姿が美しい。『聖』とは、その姿を見た人が真似をし、仰ぐ。このように指導員が教えているのです」

## 多くの方の援助で福祉の総合大学に発展

少しさかのぼりますが、その十年前のこと、御開山上人は、知的障がい児や養護施設の子どもたちを育てながら、専門家の育成を考えておられました。昭和24年春に横浜で全国児童福祉大会が開催され、その時に御開山上人は次のようにおっしゃいました。

「これからの時代、社会福祉施設は、もはや同情や人間愛だけで経営できるものではありません。近代化され、合理化された知識と科学的技術を有した人物が求められています。福祉施設職員には、福祉の専門理念や技術が必要で、東京・大阪のみならず、名古屋にも社会事業教育、専門機関を作り上げる必要があります」

この言葉を聞いた当時の法音寺総代の方々が「御開山上人が取り組まれるのなら協力しなければ」と、すぐに土地探しが始まり、日本福祉大学の前身の中部社会事業短期大学が創設されることになりました。

当初、当時の厚生省から1500万円の補助金が予定されていました。それが自衛隊の前身・警察予備隊を創設するということで、国における金がなくなり、助成を受けることができませんでした。御開山上人の要望で、「よい先生に来てもらいたい。東京や大阪から一流の先生を呼びたい」ということで、国立大学の教授並みの給料プラス研究費を用意し、住居を無償で提供し、さらに学生には「とにかく学費がなくても志の高い人に来てもらいたい」ということで学費を国立大学並みに抑えました。遠方から来る学生のために寮も作りました。ですから補助金はなくなる、収入は少ない、出費は多いという状況で、開学から何年間かは、運営費の8割を法音寺の檀信徒が負担する状況だったそうです。開学4、5年目に、もうだめではないかということで、教職員全員が「来年はもう学校はなくなるのではないか」と、忘年会の席にうなだれてやってきたそうです。その席で御開山上人は「皆さまが想像する通り、大学の経営は火の車です。しかし火の車も、回るのは妙ですな」と、自虐的なジョークを言われ、皆を煙に巻いたという話があるほど、開学から十数年間は赤字に次ぐ赤字でした。ただ昭和37年だけは銀行から借金をしなくて済んだそうです。これは御開山

上人が遷化され、皆さまから香典を戴き、大学の教職員の給与を支払うことができたのです。

その後は多くの方のご援助、ご協力をいただき、日本福祉大学は現在4カ所のキャンパスに、7学部を展開。来年にはスポーツ科学部が新設されて8学部になります。最初は小さな福祉の単科短期大学でしたが、大学院・専門学校・付属高校を擁する福祉の総合大学になりました。本当に多くの方のご援助あってのことです。

また昭徳会も今年の春、児童養護施設・名古屋若松寮を名古屋市から委管され、児童福祉部門、障がい児・障がい者福祉部門、高齢者福祉部門を合わせ、17施設・44事業を展開しています。これもまた本当に多くの方のご援助をいただいたお陰と、心から感謝しています。

昭徳会にしましても、日本福祉大学にしましても、すべてその時代のニーズに応えて取り組んできた経緯があります。これからも社会の弱者のために頑張っていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

※日蓮宗・宗務院発行の月刊誌『宗報』（平成29年1月号）に掲載された講演記録を基にしています。

春のお彼岸です。
ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。
法音寺本山は
三月二十日(月・祝)午前十一時から
春季彼岸会の法要が行われます。
皆さまのご参詣をお待ちしています。

## ❖今月の山首上人さまご親修日程

| | | | |
|---|---|---|---|
| 坂支院 | 3月5日(日)・彼岸会 | 郡上八幡支院 | 3月8日(水)・講日 |
| 大垣支院 | 3月11日(土)・彼岸会 | 一宮支院 | 3月15日(水)・彼岸会 |
| 神戸支院 | 3月21日(火)・彼岸会 | 岐阜支院 | 3月24日(金)・彼岸会 |

# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

| 支院名 | 春季彼岸会 | 住所 | 電話番号 | 毎月の講話日 |
|---|---|---|---|---|
| 大乗山泰明寺 | 3月20日(月) | 名古屋市中村区名駅2-37-3 | ☎(052)581-2069 | 5日 |
| 開基堂 | | 江南市寄木町天道18 | ☎(0587)53-5436 | 10日 |
| 東京支院 | 3月12日(日) | 東京都練馬区谷原2-6-37 | ☎(03)3904-1251 | 5日・12日・25日 |
| 山形布教所 | 3月10日(金) | 山形市長町2-4-6 | ☎(023)681-0770 | 10日 |
| 静岡支院 | 3月22日(水) | 磐田市城之崎4-7-3 | ☎(0538)32-6625 | 2日・12日・22日 |
| 豊川支院 | 3月20日(月) | 豊川市中野川町1-26-3 | ☎(0533)86-4704 | 4日・20日 |
| 安城支院 | 3月18日(土) | 安城市新田町小山31-25 | ☎(0566)76-2504 | 5日・18日・28日 |
| 明川支院 | 3月11日(土) | 豊田市明川町堂ノ脇1-2 | ☎(0565)67-2231 | 11日・第4土曜日 |
| 佐屋支院 | 3月12日(日) | 愛西市大井町浦田面296 | ☎(0567)32-1825 | 4日・12日・24日 |
| 一宮支院 | 3月15日(水) | 一宮市大江1-7-4 | ☎(0586)72-7208 | 5日・15日・25日 |
| 西春支院 | 3月22日(水) | 北名古屋市九之坪東ノ川20 | ☎(0568)22-5813 | 2日・12日・22日 |
| 岐阜支院 | 3月24日(金) | 岐阜市切通7-15-22 | ☎(058)245-2939 | 4日・14日・24日 |
| 笠松布教所 | 3月12日(日) | 岐阜県羽島郡笠松町八幡町23 | ☎(058)388-2740 | 12日 |
| 大垣支院 | 3月11日(土) | 大垣市宝和町5 | ☎(0584)78-4854 | 1日・11日・21日 |
| 関支院 | 3月23日(木) | 関市西福野町2-15-11 | ☎(0575)22-0776 | 3日・13日・23日 |
| 平賀支院 | 3月15日(水) | 関市市平賀213-2 | ☎(0575)23-3771 | 5日・15日・25日 |
| 郡上八幡支院 | 3月22日(水) | 郡上市八幡町小野721-3 | ☎(0575)65-3933 | 8日・22日 |
| 四日市支院 | 3月13日(月) | 四日市市赤堀2-4-7 | ☎(059)352-3633 | 3日・13日・22日 |
| 上野支院 | 3月21日(火) | 伊賀市上野向島町3475 | ☎(0595)21-0127 | 1日・11日・21日 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 京都支院 | 3月20日(月) | 京都市上京区北横町360 | ☎(075)231-3437 | 1日・9日・20日 |
| 高槻支院 | 3月21日(火) | 高槻市天神町1-9-2 | ☎(072)685-1003 | 5日・21日 |
| 大阪支院 | 3月23日(木) | 大阪市此花区西九条3-4-41 | ☎(06)6465-5051 | 12日・23日 |
| 福井布教所 | | あわら市春宮3-28-2 | ☎(0776)73-5234 | 第3土曜日 |
| 和泉支院 | 3月22日(水) | 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404 | ☎(0724)66-3112 | 5日・14日・22日 |
| 神戸支院 | 3月21日(火) | 神戸市兵庫区五宮19-17 | ☎(078)360-4884 | 11日・21日 |
| 淡路支院 | 3月25日(土) | 南あわじ市神代国衙910 | ☎(0799)42-0175 | 5日・25日 |
| 岡山支院 | 3月20日(月) | 岡山市南区若葉町1-16 | ☎(086)262-0818 | 5日・20日 |
| 高知布教所 | 3月12日(日) | 高知市上町5-5-39 | ☎(088)823-1983 | 12日 |
| 福山支院 | 3月19日(日) | 福山市西町3-19-5 | ☎(084)921-3078 | 1日・19日 |
| 三原支院 | 3月19日(日) | 三原市皆実2-9-22 | ☎(0848)62-5087 | 11日・19日 |
| 安芸津支院 | 3月12日(日) | 東広島市安芸津町三津3765-3 | ☎(0846)45-4012 | 4日・12日・26日 |
| 坂支院 | 3月5日(日) | 広島県安芸郡坂町坂東2-24-12 | ☎(082)885-1064 | 5日 |
| 福岡支院 | 3月20日(月) | 福岡市早良区城西2-11-37 | ☎(092)821-7975 | 5日・19日 |
| 壱岐布教所 | 3月23日(木) | 壱岐市石田町池田東触1112 | ☎(0920)44-5445 | 13日・23日 |
| 筑後布教所 | 福岡支院にて | 筑後市大字西牟田5954-1 | ☎(0942)53-7273 | 第2日曜日・第4日曜日 |
| 天草布教所 | 福岡支院にて | 上天草市大矢野町維和1502-1 | ☎(0964)58-0742 | 1日 |
| 田川支院 | 3月12日(日) | 田川市春日町7-30 | ☎(0947)42-1819 | 12日・26日 |
| 名古屋地区 | 3月20日(月) | 名古屋市昭和区駒方町3-3 | ☎(052)831-7135 | 7日・17日・27日 |
| 瀬戸布教所 | 3月19日(日) | 瀬戸市東本町2-20 | ☎(0561)85-6860 | 9日・29日 |
| 亀岡布教所 | 3月13日(月) | 亀岡市篠町篠牧田73-1 | ☎(0771)25-7807 | 13日・26日 |

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

特別企画

# 聖の教え（十五）

## 本化の菩薩

〝み仏のつかいとなりて法を世に広むることを許されにけり〟

御開山上人御詠

◇他方の國土の諸の來れる菩薩摩訶薩の八恒河沙の數に過ぎたる、大衆の中に於て起立し合掌し禮を作して、佛に白して言さく、世尊、若し我等佛の滅後に於て此の娑婆世界に在って、勤加精進して是の經典を護持し讀誦し書寫し供養せんことを聽したまわば、當に此の土に於て廣く之を說きたてまつるべし。爾の時に佛、諸の菩薩摩訶薩衆に告げたまわく、止みね、善男子、汝等が此の經を護持せんことを須いじ。所以は何ん、我が娑婆世界に自ら六萬恒河沙等の菩薩摩訶薩あり。一一の菩薩に各六萬恒河沙の眷屬あり。是の諸人等能く我が滅後に於て、護持し讀誦し廣く此の經を說かん。佛是れを說きたもう時、娑婆世界の三千大千の國土、地皆震裂して、其の中より無量千萬億の菩薩摩訶薩あって同時に涌出せり。是の諸の菩薩は身皆金色にして、三十二相・無量の光明あり。先より盡く娑婆世界の下、此の界の虛空の中に在って住せり。

是の諸の菩薩、釋迦牟尼佛の所説の音聲を聞いて下より發來せり。一一の菩薩皆是れ大衆唱導の首なり。各六萬恒河沙等の眷屬を將いたり。

妙法蓮華經・從地涌出品　二五八頁

◇是の菩薩衆の中に四導師あり。一を上行と名け、二を無邊行と名け、三を淨行と名け、四を安立行と名く。是の四菩薩其の衆中に於て最も爲れ上首唱導の師なり。

妙法蓮華經・從地涌出品　二六〇頁

◇汝等如來の滅後に於て、應當に一心に受持・讀誦し、解説・書寫し、説の如く修行すべし。所在の國土に、若しは受持・讀誦し、解説・書寫し、説の如く修行し、若しは經卷所住の處あらん。若しは園中に於ても、若しは林中に於ても、若しは樹下に於ても、若しは僧房に於ても、若しは白衣の舍にても、若しは殿堂に在っても、若しは山谷・曠野にても、是の中に皆塔を起てて供養すべし。

妙法蓮華經・如來神力品　三二八頁

◇諸の菩薩摩訶薩、佛の是の説を作したもうを聞き已って、皆大歡喜其の身に徧滿して、益恭敬を加え躬を曲げ頭を低れ、合掌して佛に向いたてまつりて、俱に聲を發して言さく、世尊の勅の如く當に具さに奉行すべし。唯然、世尊、願わくは慮有さざれ。

## 妙法蓮華經・囑累品　三三三頁

◇如何にも今度信心を致して、法華經の行者にて日蓮が一門と成り通し給うべし。日蓮と同意ならば地涌の菩薩たらんか。地涌の菩薩に定まりなば、釋尊久遠の弟子たること豈疑うべきや。經に云く、『我久遠より來、是等の衆を教化せり』とは是なり。末法にして妙法蓮華經の五字を弘めん者は男女は嫌うべからず、皆地涌の菩薩の出現にあらずば唱え難き題目なり。

## 諸法實相鈔　九七〇頁

◇大地は草木を生ずるを以て行と爲し、天は潤すを以て行と爲す。妙法蓮華經の五字も又是の如し、本化地涌の利益是なり。上行菩薩末法今の時、此の法門を弘めんが爲に御出現これあるべきの由、經文には見え候えども如何候やらん。上行菩薩出現すとやせん、出現せずとやせん。日蓮先づ粗弘め候なり。相構え相構えて、强盛の大信力を出して、南無妙法蓮華經、臨終正念と祈念し給え。生死一大事の血脈此より外に全く求むることなかれ。煩惱卽菩提、生死卽涅槃とは是なり。信心の血脈なくんば、法華經を持つとも無益なり。　生死一大事血脈鈔　七六二頁

◇八萬聖教の肝心法華經の眼目たる妙法蓮華經の五字をば、迦葉・阿難にも讓り給わず、又文殊・普賢・觀音・彌勒・地藏・龍樹等の大菩薩にも授け給わず。此等の大菩薩等の望み申せし

かども佛許し給わず。大地の底より上行菩薩と申せし老人を召し出して、多寶佛十方の諸佛の御前にして、釋迦如來七寶の塔中にして、妙法蓮華經の五字を上行菩薩に讓り給う。

高橋入道殿御返事　一二六七頁

## ◆安立大法尼

**本化の菩薩**　皆様方の如く、どうか善い事が実行したい、出世がしたい、人より尊敬せらるる人となりたいと思わるる方々は、釈尊が本化菩薩と仰せられた、高徳の方々の化身であるのであります。これら高徳の方々なるが故に、人界に生を受けられたる今、人から仰がるるような人となられたのであります。その時にはたくさんの徳も積まれたが、また反面には、貪・瞋・痴の三毒によって、悪因をも止むを得ず作られたのでありまして、その悪因が、今日の災いを成す原因となったのであります。しかしその罪も、本化菩薩なるが故に、保釈にて、また人界に生を受けられたのであります。多くの本化菩薩も、この悪因に困っておられるのでありますから、早くこの苦しみを救いたいのであります。

どうか皆様は、慈悲・至誠・堪忍の三つを心の守りとせられて、行住坐臥、妙法蓮華経をお唱えください。斯くして、悪業の因縁を断ぜられて初めて、お互いの徳を発揮することができるのであります。「天晴れぬれば地明かなり、法華を識る者は世法を得べきか」と日蓮聖人の

申されたる如く、この理を知って暮らす者は処世の道を得た者であるから、必ず明るい気分で暮らすことができるのであります。

始祖・御法話集　一三六頁

## ◆宗玄大徳

**本化の菩薩**　われらの魂は、久遠の昔から今世に至るまで、仏の徳を受けて次第に進化し、琢磨されて今日に至ったものである故に、この娑婆世界に生を受けたるその目的として、仏恩報謝のため善事に励まなければなりません。

法華経従地涌出品に曰く「娑婆世界の三千大千の国土、地皆震裂して、其の中より無量千万億の菩薩摩訶薩あって同時に涌出せり。是の諸の菩薩は身皆金色にして、三十二相・無量の光明あり。先より尽く娑婆世界の下、此の界の虚空の中に在って住せり。是の諸の菩薩、釈迦牟尼仏の所説の音聲を聞いて下より発来せり。一々の菩薩皆是れ大衆唱導の首なり。各六万恒河沙等の眷属を将いたり」とありますが、この諸の菩薩というのは他にあるべきではありません。

釈尊滅後二千年を過ぎて末法に至ったなれば「其の地を尋ぬれば唐の東、羯の西に一小国あり」と定められたるこの国こそ、無上の大法の広宣流布すべき根元地であります。しかしてその国には、これら大菩薩が経と共に出生し、これを護持すべき責任を有するものであります。神通をもって見るに、この小国とは即ちわが日本国で、国民一千人の内九百九十九人までがこ

の菩薩の魂の持主であります。いわんやこの法に会い、この理を聞知して、須臾も説く者はなおさらのことであります。

このことを今までお忘れになっておられた方々は、どうかこのことを思い出して、自分の魂が本化菩薩という尊い魂であることを覚られて、心を広く高く持ち、しかも身は低く、他人を慈しみ、喜ばせることをもってわが喜びとするようにしてください。

自己の踏むべき道、信ずべき経を忘れ、さらに本師をも忘れておられる人々もまことにたくさんあるように思います。いかに魂がよくても、この世に生まれた目的を知っても、もし修養の道を説きたる教え、即ち宗教がなかったなれば、あたかも大海に出でて羅針盤を失った船のごとくであります。

村上先生御法話集（二）　三七頁

## ◆御開山上人

### 大地より涌出した菩薩

従地とは、地下より湧き上がったという意であって、この娑婆世界に縁の深い者、そしてこの娑婆世界で苦労をした者こそ、この世の中を浄き地とする者であるという事を説いたのである。元来この世の中は「厭離穢土。欣求浄土」という言葉もあるように、何も満足のできない苦しいところだ。それ故極楽を求めたいという思想が起る。しかし自分の心の中に貪り、怒り、愚痴という迷いがあっては、たとえ極楽浄土に行っても、不満を生じて

穢土になってしまうのである。浄土を求めるならば、自分の心の中に求めねばならぬ。心を浄くすれば自分の身も住まうところも浄くなるのである。その心を浄くするには仏の教が必要である。故に仏の教、慈悲、至誠、堪忍の力をもって周囲の人々の悩みを去らせ、楽しみを与えねばならぬが、その責任は誰にあるか。「大地より涌出した菩薩」すなわちこの世の中に生まれて、このところにおいて悩み苦しみに遭った人でなければならぬ。東や西からきた者に手伝いを求めるにはおよばぬ。この世の人々といっしょに苦しんで、いっしょに苦労して、本当の教を実行して真の楽しみを得たものでなければならぬ。日蓮聖人は「われわれが苦労するのはこの尊い責任を負わされているためだ」といって、自分が大事な責任をもった者だと考え、苦労を楽しみとして喜ばれた方である。「法華経をひろめる責任をはたす者は自分である」という大決心をもって、自ら心を浄くし、他の人の心をも浄くするために、法華経をひろめよう、ひろめることをはげもうという覚悟を定めさせるお経である。

妙法蓮華経略義　五六三頁

**四菩薩の誓願**　大勢の人を導き、大勢の人の先に立ってゆくことに勝れた菩薩が四人ある。一を上行と名づけ、二を無辺行と名づけ、三を浄行、四を安立行と申すのである。

この四人の導師には、それぞれ名前に意味があり誓願がある。四つの誓願は次の通り。

衆生無辺誓願度（安立行）＝際限なく多い世の中の人を度することに力をつくす。

煩悩無数誓願断（浄行）＝人生の迷いは、限りなく多い。この迷いをなくすために努力する。
法門無尽誓願知（無辺行）＝仏の説かれた法門はたくさんあるけれども学んで、仏さまの本当の精神を体得しよう。
仏道無上誓願成（上行）＝仏さまと同じ境界に到達せんと心に誓う。

妙法蓮華経略義　五六八頁

## ◆日達上人

**安立行菩薩の誓願**　始祖杉山先生は安立行菩薩の再誕といわれております。これは、杉山先生が偉いからそうであるとか、またご自分で勝手にそうおっしゃったわけではありません。

杉山先生のご一生の行ない、徳行を見る時、一生を通して困っている人、悩みのある人、いろいろな事情で苦しんでいる人々を物質的に、精神的に救ってゆくという生涯につきるわけです。そのお姿、行ないを見て〝杉山先生こそ安立行菩薩の再誕に違いない〟と、みなが思い、そう申し上げるのです。つまり「衆生無辺誓願度」を身をもって実行されたのであります。

「衆生無辺誓願度」を私共の現在の立場で申しますと、自分にできることで、自分の立場を通して、一人でも多く縁のある人を救ってゆこう、喜ばしてゆこうという願いであります。

月刊法音・八二号　五頁

**本化菩薩の出現**　安楽行品の終った所で、説法の坐に連なった「他方の国土」から来た大勢の菩薩達が仏さまに〝世尊のご入滅の後にも私達はこの娑婆世界に留まり、法華経を説き広めてまいりましょう〟と申し上げます。すると仏さまは意外にも〝その必要はありません。この娑婆世界には、私の滅後に広める役目を持った菩薩達が無数におります〟とおっしゃいます。「他方の国土」とは、西方浄土であったり東方浄土であったり、いわばこの娑婆世界とは全く別の国土であって、その菩薩達は余り現実生活における苦労をされていない菩薩といえます。

地涌の菩薩はそうではありません。私共と同じ娑婆世界にあって、苦しみ・悩みも実際に体験され、乗り越えてこられた菩薩であります。お釈迦さまは〝その菩薩達に法華経を広めることを、ずっと以前、久遠の昔から頼んでおいた〟といわれるのです。　月刊法音・八一号　五頁

**法のために骨を折る人が本化の菩薩**　最近は、あまり「本化の菩薩」ということをききませんが、杉山先生、村上先生、御開山上人の時代には〝私共は、みな本化の菩薩なんだ〟と、よくいわれておりました。

本来私共は、諸先師の言われますように本化の菩薩であります。その本化の菩薩とは、何よりもまず人のことを考え、喜ばせてゆくために生まれてきたわけですから、自分のことだけを

考え、自分さえよければそれでいい、というのではいけません。

〝大勢の人を済度する〟というと大げさに聞こえますが、そうではありません。講日や行事には、大勢の方々がお手伝いをしてくださいます。太鼓をたたいてくださる人、下足の番をしてくださる人、たくさんの方々が、法のためにやってくださいます。この法のためにお骨折りくださる方達は、みな本化の菩薩であります。

ただ私共凡夫ですから、すぐ〝オレがオレが〟という我を出してしまい、なかなか四、六時中本化の菩薩というわけにはまいりませんが〝もともとは本化の菩薩なんだ〟と心に思うことが大切です。

月刊法音・八一号　六頁

**〔特別企画・聖の教え〕について**

『聖の教え』は、御開山上人が昭和33年8月に同名の著書（現・仏教聖語の解説）を発行されておりますが、同題を使用させて頂きました。

経典（法華三部経）及び日蓮大聖人御書と当山先師のみ教えから信仰の培養に資する妙文を撰出し、並記・編集したものです。

**『経典はリュウミン（ボールド）、御書はゴシックMB101（ライト）、先師の御文は教科書CA（レギュラー）』**で記しました。尚、経典は『平楽寺書店版・訓訳妙法蓮華経並開結』。御書は『平楽寺書店版・昭和新修日蓮聖人遺文全集』を使用し、ともに新仮名遣いに改めました。先師の御文は、当山発行の書籍に依りましたが、それぞれの章分け、見出しは編者において整理し、かつ便宜上、言葉遣い、句読点等改めたところはあります。又、ところどころ「中略」もしました。仮名遣いは新仮名遣いとし、送り仮名及び、明白な誤字・脱字・当て字は正し、当該書発行後、新たな史実の判明した部分については、編者において修正しました。読者諸賢のご賢察をお願いするものであります。

# とこのはの記

## 到彼岸

「夫れ彼岸とは春秋の時正の七日、信男信女あって、若し彼の衆善を修して小行を勤むれば、生死の此の岸より苦海の蒼波を凌ぎ、菩提の彼岸に到る時節なり。故に此の七日を彼岸と号す」

『彼岸鈔』

「ご先祖さまは喜んでくれるかな」
「みんなが来てくれたって、きっと喜んでくれるよ」
お彼岸の墓参りに向かいながら子どもたちが話しています。
「お彼岸は日本独自の行事だって知っていたかい？」

「えっ、そうなの？」と妻。
「うん、中国やインドにお彼岸という風習・信仰はないそうだよ。彼岸とは〝彼の岸〟つまり、仏さまの世界（極楽）を意味し、私たちが暮らしている苦しみや迷いの多い世界から仏さまの世界に渡ることを〝到彼岸〟って呼ぶのだそうだ。お彼岸について、ちょっとした話をお寺で聞いたよ…」
「どんなお話？」
「日蓮聖人によれば、昼夜の時間が同じになる春と秋のお中日を中心として前後三日、合わせて7日間をお彼岸と言うんだって。その間は閻魔大王の浄玻璃の鏡がいつも以上に曇りなく、人々の善悪の行いがことごとく映り込むのだそうだよ。そして、その人が生まれてから死ぬまでのすべての行いが札に書かれて送られ、死んで閻魔さまの所に行くと、この人の一生は善かったか悪かったが裁定される資料になるそうだ」
「えっ、そうなの？気をつけなきゃ…」

「だからこの時期にご先祖さまのご供養をして、善根功徳を積むわけね」と妻。

「うん。でも、先祖供養だけではないらしい。そう言えば、お上人は〝六波羅蜜は到彼岸の教え〟だとおっしゃっていた。到彼岸、つまり彼岸に行くためには、人に親切にし、善い行いを心掛け、決して怒らず、日々の行いを反省し、自分は仏さまの子どもだという自覚をもって、周りの人々に喜びを与えるようにしましょうって」

「二季時正(※)此の時に小善は大善となるなり。小悪を作れば又大悪となる者なり。善悪二の道を定むと雖も、一善なれども能く菩提の彼の岸に到る故に彼岸と号するなり。若し人年年月月の罪業の札を消して善の札に改めて決定して菩提を得んと欲する者、此の七日の内に一善の小行を修せば必ず佛果菩提を得べし」

『彼岸鈔』

「お父さん、この時期に善い行いをすると、罪の札が消えて、仏さまの世界への道が開くということは、ある意味で、ボーナスチャンスってこと？」

「おもしろいことを言うね。でも逆を言えば、ちょっと悪いことをすれば『逮捕状』に変わるかもしれないから気をつけないとね」

「なるほど、善いことをすれば仏さまの世界へ行けるチケットがもらえるけど、悪いことをすると一気に地獄に転落するってパターンか」

「いずれにせよ、彼の岸に到達するかしないかは、自分の心の振舞い方次第ということだね」

寒い冬が去り、暖かくなって草も木も芽を出す季節。お寺で六波羅蜜のお話を聞き、家庭や学校や職場でみんなが笑顔で穏やかに暮らせるように、み教えの実行を心掛けましょう。

※時正（一日の昼夜の時間が同じ時、春分・秋分のこと）

# 読者の声

## 精進

田中　裕（大阪支院）

毎朝、目が覚めると私は〝今日一日しっかり働かせていただこう〟と思います。現在、私ども夫婦は福井布教所に担任として在住させていただいています。実は、気楽な気持ちで山首上人さまに「留守番役を」と願い出たのですが、思いもかけず「担任」という重責を与えられ、〝身の程知らずのことをお願いして申し訳なかった〟と、反省しています。この重大な責任を全うするために、私が今まで生かされてきたことへの感謝が隅々まで香るような布教所にしたいと思っています。

初めて御法に出会った時、私は病床にあり、明日をもしれない状況でした。そこへ、当時の大阪・広宣寺（現・大阪支院）ご住職、圓光院日堅上人（長谷川瑞学上人）がこられ、「あんたが裕さんか。諸天の命で来た」と背中を手でさすってくださいました。その温もりを今も忘れることができません。そのお陰で私は生かされているのです。

63年前のこの出来事から今日まで、いったい御法に対してどれほど、ご恩をお返しすることができただろうと考えることがあります。信教師を拝命させていただいた傍ら、青年会会長・支院運営委員、そして本山の青少年育成委員等を長年務めさせていただきましたが、何一つ満足にお役に立てていません。こんなことでは、旅立ちまでに残された時間はあまりにも短く、生かされて来た意味がありま

せん。仏さまのお心に叶うように、慈悲の心を持って人の心に喜びと安らぎを与えることを実行しなければなりません。一人の仏を作るチャンスは今を逃してはないと、固く強く心に思う毎日です。そしてそのことがいずれ実を結ぶようにと、朝の勤行から心を込め、喜んで勤めさせていただいております。

私にそれをさせてくれているのも子どもや妻が賛成してくれているお陰です。早朝から働いてくれる妻の姿に、いつも感謝しています。その妻とは、お互いに青年会員だったことがきっかけで結婚しました。結婚に際し、日達上人より「朝のこない夜はない。ただこの道をゆく」という色紙を戴きました。そして〝辛いこと・悲しいこと・苦しいこと、さまざまなことがあっても、時は流れてゆく。留まることはない〟とご教訓をいただきました。その後、一男二女を授かり、父母も含めた七人家族も40数年を経過して、今は夫婦二人になりました。娘たちはそれぞれ良き夫に恵まれ、孫も生まれ、御法の縁に助けられていることに何一つ不足なく過ごせ、恵まれた環境に感謝しています。

〝朝のこない夜はない〟と前を向き、山首上人さまのお心に添えるように精進してまいりたいと思っています。向後一層、温かいご支援、ご教導をよろしくお願い申し上げます。

**この身こそ埋もれ木なれと思いしが**
**法の光に華咲きにけり**

《二祖・宗玄大徳御詠》

# 法音寺の
# ホームページが新しくなりました！

## http://www.houonji.com/

法音寺　検索

**スマートフォン・タブレット端末対応！**

下のQRコードからも
アクセスできます
▼▼▼

Home Page

※リニューアルに伴うURLの変更や廃止により、一部のページが見られなくなったり、リンク切れが発生することがあります。
この場合は、サイトマップページで該当の情報をお探しいただくか、サイト内のキーワード検索をお試しください。

---

## YouTubeに
## 法音寺チャンネルが
## できました。

https://www.youtube.com/user/houonjimovie

ホームページから、またはYouTubeサイトで

法音寺　検索

◀◀◀ 左のQRコードからもアクセスできます

YouTube Channel

法音寺の紹介や歴史、活動記録をご覧になれます。

---

## 法音寺公式facebookで
## 『一日一言』配信中!!

※ホームページからもアクセスできます。

facebook

**Facebookのアカウントをお持ちでない場合**

1. www.facebook.comを開きます。
2. 登録フォームが表示された場合は、名前、メールアドレスまたは携帯電話番号、パスワード、生年月日、性別を入力します。
   フォームが表示されない場合は、〔登録する〕をクリックし、フォームに入力します。
3. 〔登録する〕をクリックします。
4. アカウントの作成を完了するには、メールアドレスまたは携帯電話番号を確認する必要があります。

# 福祉のひろば

## 少子・高齢社会の中の日本の福祉

認知症は「病気」ですから、〝悪気があって、嫌がらせをしているわけではない〟と介護者は頭で理解していても、「あなた、何度言ったらわかるの」、「お母さん、私は盗んでませんよ」、「おじいちゃん、そこはトイレじゃないでしょう」などと、思わず口にしてしまいます。

これらの言動が日常的に習慣化してしまうと、「相手が悪い」という感情が蓄積され、無意識のうちに「怒り」で対応してしまいます。そして最悪の場合、認知症高齢者の方に対して、心理的・身体的な抑圧行動をとってしまうのです。

「怒り」は、自分を危険にする状況を安全なものに変えようとするための「防衛本能」ですが、認知症高齢者と接する立場にある人には、この「怒り」をうまく制御していくことが求められます。具体的な方法として、心理療法の側面から『アンガーマネジメント（怒りの感情を自己管理する）』が注目され、日本でも多数の書籍が発行されていますし、研修会も各方面で開かれています。

「怒り」が生まれるのには3段階あるとされています。

①出来事と遭遇し、②出来事に意味づけ（価値づけ）をした結果として、③「怒り」

が発生するとしています。そしてこれは、人間がそれぞれ持っている価値観によって怒りが発生するかどうか決定されるとされています。例えば、友人と待ち合わせをしていて、事前の連絡もなく、約束の時間に来なかったとします。その時、「怒らずに待てる時間は何分ですか？」と質問すると、〝10分以内なら〟〝30分でも待てる〟〝1分でも遅刻したら相手に電話をする〟というように、いろいろな人にわかれます。これらはすべて、それぞれの価値観により決まるのです。

価値観とは、それぞれが持っている「善悪」や「こうあるべき」、「こうすべき」という見方・基準です。「怒り」は、この自分の「べき」が大きく作用するのです。それゆえ「べき」が多い人ほど、自分の「べき」と異なる出来事と遭遇した場合、「怒り」が出るのです。

怒りが発生してから、その怒りが頂点に達している時間はだいたい6秒程度と言われています。その「怒り」を制御するためには、「自分を変える」ことが重要だとして、「対症療法」と「体質改善」の2つの方法が勧められています。

怒りが発生した時、①怒りの段階を分け、②自分が落ち着く言葉をかけ、③自ら思考を停止させ、④ものを観察し、⑤その場を離れ、⑥楽しいこと、好きなことを考えることを「対症療法」と言います。

そして①怒りの強さの段階をメモにとり、②自分の怒りの種類を知り、③思い込みを変えるのを「体質改善」と言います。

介護する人が「怒り」を制御できれば、そこは認知症高齢者にとって最良の生活環境となり得ます。

次号で「アンガーマネジメント」についてより詳しく説明させていただきます。

（K・T）

# 福祉に生きる

## 『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。
## 鈴木修学先生が築き上げた福祉の新たな未来を切り開くために…

社会福祉法人 昭徳会
児童養護施設 駒方寮の実践

### まごころで子どもたちに接します

駒方寮　調理員　茗荷　幸子

鈴木修学先生は、福祉を勉強するための学校を作り、田んぼや畑を耕し、作物を作り、個々のレベルに合わせて洗濯物の整理、掃除、園芸、環境整備などの生活指導、肥料の袋詰め、木工細工、軽作業の職指導などの教育を行い、親のいない子どもに生きることを教えていきました。

また、当時の知識では強力な感染力があると恐れられたハンセン病の人にも、〝同じ人間だ〟という思いを持って救済の手を差し伸べました。困難の中、私物を質に入れてお金を捻出することもありました。また

寄付を募るなど、懸命に尽くされました。そんな修学先生は、弱い立場の人を思いやることのできる、すばらしい人だと思いました。

子どもや弱い立場にいる人に対する修学先生の姿勢は見習いたいと思いました。私も法華経の三徳「慈悲」「至誠」「堪忍」の教えを常に思い出し、人々の憂いや悲しみを自分のこととして受け止め、世のため人のために自らを役立て、優しさをたゆみなく持ち続け、腹を立てず、恨みや怒りを捨て去り、理不尽な出来事からも逃げ出さず、他人を許す広い心を持てるよう、日々自分に向き合って仕事をしていきたいと思います。

私は調理員の仕事をさせていただいております。昭徳会の活動基本方針にあるように、一人ひとりに思いやりの心を込めて調理をしたいと思います。

私が働いている駒方寮では各ユニットで、家庭のように調理をします。子どもが調理を手伝ってくれたり、その日にあった出来事を話しに来てくれます。

調理を一緒にしたり話したりする中で、楽しさや安心感を与える場を作り、一人ひとりを大切に、まごころで接するようにしたいと思います。

## 〝ほめる〟ことの大切さを改めて感じた

駒方寮　児童指導員　安田　育代

この本を読み〝福祉〟というもののすばらしさを改めて感じることができた。私自身、4月から児童養護施設の職員となり、さまざまな経験を重ね、充実した毎日を送っている。

この本からは、新たに学ぶことや、自分自身の支援の仕方についても改めて考えさせられること等、多くの気づきがあった。その中でも特に印象に残ったのは、子どもを「ほめて育てる」ことが、一番良い指導法であるという教えである。

どんな子どもでも、ほめてあげると必ず良い子になる。良いことがなければ何か仕事をさせて、そのことをほめてあげること。一つのことを教えようと思った

ら、五つくらいほめてあげることが必要であること。またどうしても叱らなければならない場合は一人だけ呼んで、ほめる時以上に愛情を込めて、納得がいくまで話をするように、と文中に例が挙げられていた。

この文を読み、自分自身の子どもとの関わり方について振り返ってみたが、今の自分の支援の仕方では〝ほめる〟ことがここまで重要とは認識していなかったため、ほめる意識は低かったと感じる。しかし、現場職員の立場として考えていくと、ほめてばかりではいられない。施設は子どもの生活の場でもあり、さまざまな問題を抱えている子どもも多くいる。職員は親代わりとして子どもを育てていくという責任がある以上、良い所だけを見ていき、ほめていくということだけでは、今後の子どもたちにとって幸せな人生を送っていけるとは思えない。だからといって怒ることばかりがすべてだとも思わない。しかし子どもたちにはきちんと、ダメなことはダメ、うれしいことはうれしいなど、言葉や表情、態度などで伝えていかなければいけないのだということを改めて考えさせられた。

しかし〝ほめる〟ことの大切さを改めて感じることができたため、今後の支援においてもどんどん活かしていきたいと感じた。日々子どもたちを見ていると、ほめられることが多くあるほど笑顔も増え、穏やかに過ごせるようになることがわかる。

このようなことを踏まえて考えていくと、子どもとの関わり・支援というものに正解がないぶん、そのむずかしさを改めて感じる。しかし、この本から学べたことを今後活かしながら支援していき、日々挑戦していきたいと感じた。

## ほめながら子どもに寄り添っていきたい

駒方寮　児童指導員　安藤　愛

この本を読んで最も印象に残ったことは、鈴木修学先生のすばらしい人柄だ。自らを犠牲にしてでも困っている人々に手を差し伸べ、これでもかというくらい

の支援をしている。同じことを自分にできるかと考えてみるが、修学先生のようには決してできないだろう。

私は駒方寮に所属している。修学先生は子どもを対象とした支援を手厚く行っておられたため非常に参考になる点があった。まず「ほめて育てる」指導法である。一日の中で子どもの良いところを探してほめ、もし良いところがなければ何か仕事をさせてほめるという指導法を実践しておられた。これは今すぐに実践できるため積極的に行っていきたい。施設でのトラブルが絶えない時に定めた三つのルールのうちの一つに『叱ることを避け、子どもの良いところを早く見つけてほめる。叱る前にほめ、ほめたあとで教える。この順番を忘れないこと』とある。私自身の普段の子どもとの関わり方を思い返してみると、叱ることはあっても、しっかりと言葉で子どもをほめていないかもしれないと感じた。できてあたりまえと思っていることが多く、ほめることを忘れていたのかもしれない。修学先生の教えのように、まずはほめることを実践し、その後に教えていきたいと強く感じた。

さらに修学先生は、施設の子どもが逃げ出したり悪さをしたりしても、声を荒げず温かく見守り、心の傷が癒えるまで優しく愛情を注ぎ込み、良いところを見つけてほめておられた。このことから、子どもにより良い支援をするには子どもの心に寄り添い続けることが大切だと考えた。そして、子どもをほめるためには、子どもの一日の生活を温かく見守る姿勢を身につける必要があると感じた。私も修学先生のような支援ができる職員になりたい。そのために一日の中で、関わった子どもの良いところを最低でも一つは見つけ、伝えていけるように心掛けていきたい。

また、法華経の教えの「慈悲」「至誠」「堪忍」の三徳を修学先生は「人に親切にしよう」「何事にも精一杯の力で取り組もう」「今日一日だけは堪忍しよう」と説いておられる。この教えは誰にでもわかりやすく、内容もすばらしいと感じた。大人が指示するだけではなく、ともに行うことで子どもとの信頼関係が築ける

のではないかと考えた。

最後に、私たちが今こうして社会事業に携われるのは、修学先生をはじめとする人々が築いてきた歴史や、さまざまな人々や団体、地域の理解と協力があってこそだという事実を忘れずに日々を過ごしていきたい。

## 子どもの気持ちを第一に考えて接します

駒方寮　保育士　清水　健司

この本を読んで、保育園・児童養護施設・障がい者施設・高齢者施設など数ある福祉施設のすべてが、昭徳会の創始者である鈴木修学という方の働きが礎となっているということに驚きました。初めは全く違う仕事をしていたにもかかわらず、自分の人生を見直し、ハンセン病の方々の看病から始まって福祉の道に尽力していく姿には感心しました。

中でも特に印象に残っているのが、浮浪者となってしまった子どもたちへの支援を行う姿です。少しでも多くの子どもたちを救いたいと考え、困窮している子どもを見つけては施設に連れていき、無償で生活の支援を行っていました。このような活動が、最近ではなく何十年も前からずっと行われていたことに感心し、同じように親元で暮らすことのできない子どもがそれほど昔からいたことを残念に思いました。支援の方法は、決して子どもたちの行動を制限するようなことはせず、見守りながら自由にさせるというもので、子どもが問題行動を起こしてしまっても、怒ることはせず、優しく語りかけることで自然と子どもが素直になっていきました。

私自身、これから児童養護施設で仕事をすることになり、子どもたちと関わりを持つようになるため、このような支援の方法は見習うべきものであると感じました。信頼を得るには長い時間をかけなければなりませんが、一度でも怒ってしまうと今まで築いてきた信頼も一瞬で失ってしまい、もう一度信頼を取り戻すことはとてもむずかしいと思います。また、悪い部分を

見るのではなく、子どもの良い部分を探しそれをほめるといった関わり方も大切であると感じました。時には言うことを聞いてくれなかったり、問題を起こすこともあるかもしれません。しかし、そのような時でも修学先生のように、怒りたい気持ちがあっても我慢し、落ち着いた気持ちで接していけるように心掛けていきたいと思います。

この本を読んで、児童養護施設が戦前からあり、生活に困っている子どもは昔からいたということがわかりました。そして施設で行われている支援やその理念は今も昔も変わらず、子どもを第一に考える姿勢が大切なのだと感じました。

これから子どもたちの支援を行っていく立場になるので、支援を行う際は子どもの気持ちを考えながら接していき、信頼してもらえるような保育士になりたいと思いました。

## 自分なりに徳積みを心掛けます

駒方寮　栄養士　懸　桃代

私はハローワークで駒方寮を紹介していただき、その日のうちに施設見学をして駒方寮への入職を決めました。以前福祉施設で働いていた経験があり、利用者さんとの関わりが楽しく、またいつか福祉の仕事に戻りたいと考えていたので、今がそのタイミングなのだと思いました。恥ずかしい話ですが、入職してからは仕事をこなすことが精一杯で、昭徳会については全くの無知でした。『日本の福祉を築いたお坊さん』を読み終えて、自分はこんな立派な職場で働いているのだと身が引き締まりました。また、修学先生の働く姿が寮長の柴田先生と重なり、なぜ先生が誰よりも仕事をこなすのかわかったような気がします。

私は無宗教ですが、いくつか感銘を受けた言葉があり、今後の人生の中でとても役立ちそうです。一つ目は、杉山先生が亡くなる直前に信者さんに語った言葉

です。

「明日死んでも後悔はない、というまで徳を積みなさい。死んで持って行けるものは徳だけです。死んでしまったら、家も土地もあの世に持っていくことはできません。お金や名誉に執着してはなりません。この世に生を受けたからには、功徳を積むこと、不幸な人々を助け、人々を幸せに導くことに命を捧げなさい」

前職は病院の栄養士をしていましたので、死について考える機会がたくさんありました。徳について調べてみると、『徳とは均整のとれた精神の在り方を指すものであり、これは天分、社会的経験や道徳的訓練によって獲得し、善き人間の特質となる。徳を備えた人間は他の人間からの信頼や尊敬を獲得しながら、人間関係の構築や組織の運営を進めることができる。徳は人間性を構成する多様な精神要素から成り立っており、気品、意志、温情、理性、忠誠、勇気、名誉、誠実、自信、謙虚、健康、楽天主義などが個々の徳目と位置付けることができる』とありました。たくさんの本を読み、さまざまな職種の方のお話を聞き、困難なことにも前向きに向き合って経験を積み、私なりに徳を積んでいきたいと思いました。

二つ目は法華経の教えである「慈悲」「至誠」「堪忍」です。特に「堪忍」という言葉は日々の生活でとても大切な言葉だと思いました。世の人がみんな「堪忍」という考え方を知れば、もっと良い世の中になるのになぁと思いました。人は誰でも腹を立てること、恨みや怒りの感情がありますが、その感情を自分の中で解決できるようにならなければいけないと思いました。相手に対して怒りの感情をぶつけることは、相手も自分も良い気持ちにはなりません。しかし他人を許す広い心を持つことは容易なことではないと思います。やはりここでも「徳」を積んで他人を許す心を養っていく必要があると思いました。修学先生の「今日一日だけは堪忍しよう」と自分に言い聞かせ、広い心を持つ人をめざそうと思います。

三つ目は修学先生の「一つのことを教えようと思っ

たら、五つくらいほめてあげることが必要です」という言葉です。現在、子どもたちと調理する際、どうすればわかってくれるだろうか、ということが悩みでした。料理は楽しいと思ってほしいので、注意よりもほめることを重視して子どもたちと一緒に料理していましたが、これからはたくさんほめて、一日一つ教えることを目標に子どもと接していこうと思いました。私は読み終えた後、北海道で保育士として働いている母に電話をかけ、この教えを伝えました。母はメモをとって話を聞いてくれました。

『日本の福祉を築いたお坊さん』は宗教に偏った本ではなく、誰にとっても大切なことがとてもわかりやすく書かれていました。私はこの本を読んで教わったことについて、いろいろな人に伝えて意見を交わし、幸せの輪が広がるように努め「徳」を積んでいこうと思います。

**児童養護施設　駒方寮**

●愛知県名古屋市昭和区花見通2－4－1
●入所定員45名
●職員　正職員28名、パート職員等6名

●調理員＝入所者の給食の調理を担当。
●保育士〈児童福祉分野〉＝児童福祉施設において児童の保育を行う者。保育士の資格が必要。
●児童指導員〈児童福祉分野〉＝児童福祉施設において、児童の生活指導を行う。次の任用資格が必要。①地方厚生局長の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者。②大学の学部で、心理学、教育学又は社会学を修め、学士と称することを得る者。③小学校、中学校、高等学校の教諭の資格を有する者。④高等学校を卒業した者であって、2年以上児童福祉事業に従事した者。⑤3年以上児童福祉事業に従事した者であって厚生労働大臣または都道府県知事が適当と認定した者。具体的な進路としては、4年制の福祉系大学を卒業するか、大学で、心理学、教育学、社会学を専攻し、児童指導員任用資格を取得することが一般的。
●栄養士＝献立表の作成や食事の評価など給食管理、入所児の栄養管理や栄養指導、衛生管理を担当。

※本稿は平成28年9月にいただきました。（掲載順不同）
※清水健司さんは、平成29年1月1日付で、同じ昭徳会の特別養護老人ホーム・高浜安立荘に異動となりました。

『日本の福祉を築いたお坊さん』日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語
星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・160頁・800円（税別）本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

# あたりまえの生活とは

写真提供・昭徳会

## 児童養護施設・駒方寮
## ～職員の連携を大切に、駒方寮としての支援を～

平成25年2月1日現在、全国で2万9千979人の子どもが児童養護施設に入所しています。入所理由はさまざまですが、ネグレクト（育児放棄）の割合が多くなっています。また、児童養護施設に在籍している子どもの約半数が4年以上、4分の1の子どもたちは約10年施設に在籍していると言われており、実際に駒方寮を卒寮していく子どもの在籍期間は10年程です。

厚生労働省の児童養護施設運営指針では「発達の基礎となり、その後の人生に向けた準備期でもある大切な子ども期に適切な養育支援を施設において実現すること」を目的とし、「あたりまえの生活の保障」、「家庭的養護の推進」、また一人ひとりに合った支援がしやすい「個別化の必要性」を挙げています。つまり、子どもにとっては10年近く家の代わりとして過ごす施設ですから、単に保護するだけでなく養育が必要となります。

しかし一言に「あたりまえの生活」、「家庭的」

と言っても育ってきた年代、環境によってさまざまな価値観や捉え方があります。実際にアンケートを取ってみると、どの職員も「あたりまえの生活とは、衣食住が整っていて、安心できる場所がある生活」だという考え方をもっていることがわかりました。

まず「衣食住」の「食」です。駒方寮では子どもや職員の意見を知るために嗜好調査を実施し、日々の食事に反映しています。またそれぞれのユニットで調理し、「におい」を感じることで少しでも家庭的な安心感を与えられるようにしています。

学習にも力を入れており、日課の中に宿題以外にも机に向かう時間を設定することで、学力の定着や高校進学に向け、それぞれの学力に合わせた学習支援を行っています。

余暇時間には、施設の中で過ごすだけでなく、できる限りいろいろな体験ができるようにと、公園に出かけたり、連休には外出して社会のしくみを知り、豊かな心の発達にもつながるようにしています。

また駒方寮では施設行事にも積極的に取り組んでいます。子どもも大人も協力して取り組むところは駒方寮の良さだと感じています。

一方でアンケートにより、一つひとつの場面においては職員の価値観が少しずつ違っていることもわかりました。職員間で統一していかなければ、それぞれの場面で食い違いが生まれてしまいます。また、子どもたちによって必要な支援は異なり、課題はまだまだ多くあります。その都度、日々の引き継ぎや会議で話し合い、すり合わせを行い、職員同士の連携を大切にして児童養護施設だからこそ安心感につながる「あたりまえの生活」、「子どもたち一人ひとりに適した関わり」、「安心できると感じられる場所」にする支援を行っていきたいと思います。

児童養護施設・駒方寮　児童指導員　西垣里美

# 創立60周年に向けて

## 新しい日本福祉大学付属高校が始まります

本校は、学園創立者で初代校長の鈴木修学先生が「人類のために自己を捧げることを惜しまぬ志の人を現実の社会に送り出したい」と掲げられた『建学の精神』に基づき、学園教育標語〈万人の福祉のために真実と慈愛と献身を〉の下、生徒一人ひとりは〈誰かのために〉を合言葉に、教職員は〈どの子も伸ばす〉ことを目標に、日々切磋琢磨している学校です。１９５８年４月、愛知県内の私立高校としてはいち早く男女共学の普通科として、名古屋・杁中に誕生して、来年４月には創立60周年を迎えます。

本校の特色は、何といっても広大な日本福祉大学美浜キャンパスの一角にあることです。人工芝グラウンドをはじめとする最新の運動施設や文化ホール・図書館・生協など、大学の施設を日常的に利用し、大学と連携した「青年期一貫教育」によって、高校と大学の先生が協力し運営する授業や、共同プログラムへの参加等、恵まれた教育環境が整っています。その他、活発な部活動や生徒会活動と諸行事、グローバル化に対応した海外での語学研修など大学の付属高校らしく成長できるよう取り組みを強化してきました。

２０１７年度、本校は創立60周年を前に大きく変わり、新しい付属高校が始まります。

まず、これまでのコースを進化させ新しく３つのコースを開設します。少人数授業クラスで実力を身につけ、国公立・難関私立大学を目指す「文・理コース」。英語のみで行われる授業や海外語学研修、国際福祉開発学部と連携した学習を通じて英語力強化に取り組み、難関文系、国際・外国語系大学を目指す「グローバル・英語コース」。高大連携授業を通じて大学の学問を先取りし、課題解決につながる探求学習を充実させることによって総合的な学力を高め、日本福祉大学への進学をはじめ多様な進路に対応する「総合進学コース」。

いずれのコースも、生徒一人ひとりに自立的・主体的に学ぶ姿勢を育て進路を切り拓く学力を確かに手にできるようにと、準備を進めています。

また、部活動のいっそうの充実もめざしています。

写真提供・日本福祉大学付属高等学校

部活動で、自分の好きなことに取り組み、自分の可能性を信じて高い目標を持ち、仲間とともにやり遂げる達成感を得ることは、生徒の成長に欠かせません。今年度本校では、部活動での生徒の活躍が光りました。主な活躍をご紹介します。

和太鼓部「楽鼓」は、「文化の甲子園」とも呼ばれる全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門に連続25回の出場を果たし、2年連続の3位優良賞を受賞。また、台湾の高校にも招かれて2度目となる台湾公演を成功させるとともに、東日本大震災後に続けている東北への交流演奏では、2016年は福島県と宮城県を2泊3日で訪問しました。

運動部では、人工芝グランドを有し、元Jリーガーの監督、コーチを指導者に迎えたサッカー部が、県リーグ昇格や知多リーグでの優勝などを果たし躍進しています。そして2017年度からは、通算5回の甲子園出場経験を持つ教員が赴任し、野球部の指導にあたります。大学のスポーツ科学部の開設にあわせてスポーツ分野での高大接続にも取り組み、本校の運動部の強化をめざします。

生徒たちの活躍は本校ホームページに掲載しています。いきいきとした生徒の姿をご覧ください。

2017年度より新たな形の文武両道によって、「すべての人のしあわせのために、未来の社会を担うリーダーの育成」をめざす本校に、引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。

**日本福祉大学付属高等学校　事務長　河合良彦**

幸せの種まき＝一人が一人を

# どんな時にも「ありがたい」という心を持ち続けましょう

常に「ありがたい」を自分の心に言い聞かせると、何でもないことの中にありがたいものが見えてきます。

大乗山　法音寺

## 編集後記

今月の支院だよりには寒行や節分会の様子が報告されています。寒行の原稿からは厳粛さが、節分会の原稿からは熱気と興奮が伝わってきます。記事を読みながら、改めてお寺は「非日常的」であると思わされます。お寺は俗世間を離れ〝仏さまの智慧＝人として豊かに生きるための価値〟にふれることのできる貴重な聖域です。それ故、お寺に参詣すると魂は浄化され、生きる活力を与えられるのだと思います。

さて、今月は各地で春季彼岸会が営まれます。仏教では私たちの悩みや苦しみの多い世界を「此岸」、悟りの世界を「彼岸」と定めており、「お彼岸」は先祖に感謝のご供養を捧げ、六波羅蜜の修行に勤める期間とされています。

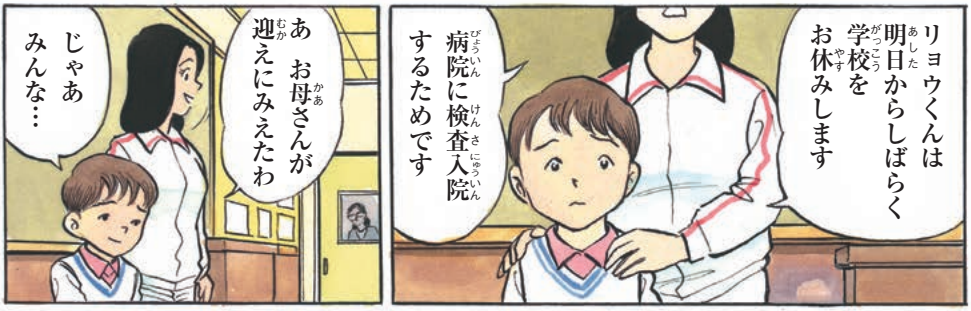
生きていくことは苦労の連続ですが、法音寺につながる私たちは一生を意義もなく「酔生夢死」で終わらせないために、小さくても自分のできることから始めて、修養を心掛け、徳を積みましょう。今一度、顕修院日達上人の「一日生きることは一日分の修行をすることです」というお言葉をしっかりと胸に刻み、お彼岸に臨みたいものですね。

〝今日彼岸　菩提の種を　まく日かな〟

ひまわり #51

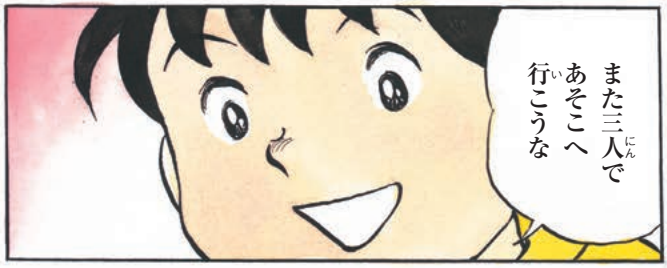
# マジック・アワー

竹中 淳

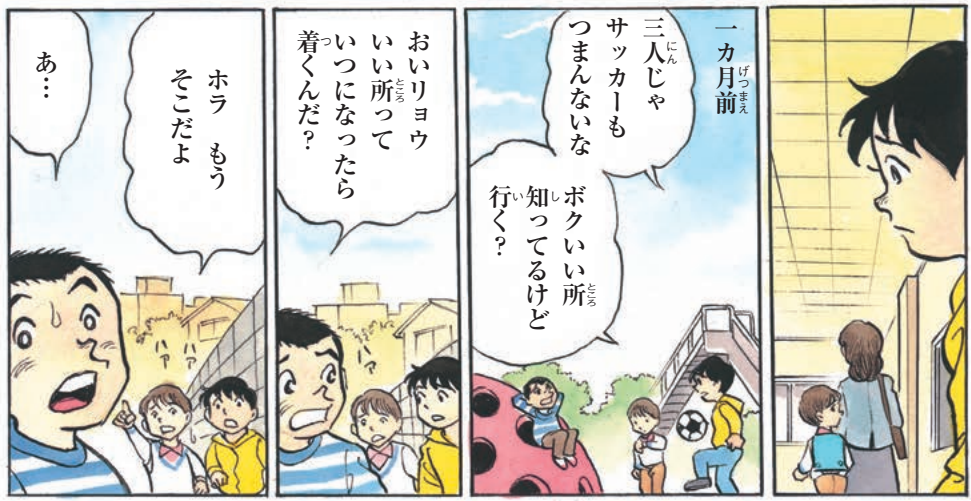

リョウくんは明日からしばらく学校をお休みします
病院に検査入院するためです


あ お母さんが迎えにみえたわ
じゃあみんな…

リョウくん


また三人であそこへ行こうな

そうだね
でもいつ退院できるかわからないもん…もう行けないかも


一カ月前
三人じゃサッカーもつまんないな
ボクいい所知ってるけど行く？
おいリョウいい所っていつになったら着くんだ？
ホラ もうそこだよ
あ…

うわぁぁ
ハァ
ここはね朝陽も見えるんだョ
近くにこんないい所があったんだ
夕陽が沈む時と朝陽が出る時の少しの時間をマジック・アワーっていうんだってサ世の中 魔法がかかったようにきれいだろ？
本当にすげぇや
ボクここへ来ると明日も頑張るゾって元気になれるんだ
ウッ
ハァ
ハァ
ハァ
リョウくん大丈夫!?
ボクの心臓ポンコツだろときどき故障するんだ
ハァ
帰ろ！ボクおぶってやるよ
蓮くん ボクね今度入院して手術することになるかもしれないんだ でも ボク… 恐いんだ
あの時リョウくんをはげまそうと思ったけど 言葉がみつからなかった

蓮 帰りに本屋で立ち読みしていこうぜ
わ〜 あのマンガ 新刊が出たんだな
ボクらのおこづかいじゃ買えないよ〜
本
見ろ！これ
今日先生がいってたコンクールだろ？
全国児童絵画コンクール
ちがうよここ！ここをよく見ろ
絵画コンクール
大賞図書券 5,000円
応募方法
図書券だよ図書券！これでマンガがすきなだけ買えるぞ
大賞図書券 5,000円
入選 2000円
蓮！コンクールで大賞をとれ！
いいな！で オレにも読ませてくれよな
蓮は？
めずらしく机に向かってるよ
大賞とったら何買おうかな
前から欲しかったアレと新刊の…

よ～し 大賞とって 図書券 ゲットだ!!

うまく 描かなきゃ

ダメだ こんなんじゃ…

ピリ ピリ ピリ

う～ん うまく 描けない な～

クシャ クシャ クシャ

どうしたんだい？

ウ～

コンクールで 図書券!?

そんなの 無理だよ 描く前から無理！ やめときな

え～ なんで!? そんなこと わからない じゃん

図書券欲しさに 描いた絵なんて だーれもいいと 思わないよ

おまえが 「楽しいな」「美しいな」 って思ったものを 素直に 絵に表現できた時 他人も 「美しいな」「わ～いいな」 って思うんだ

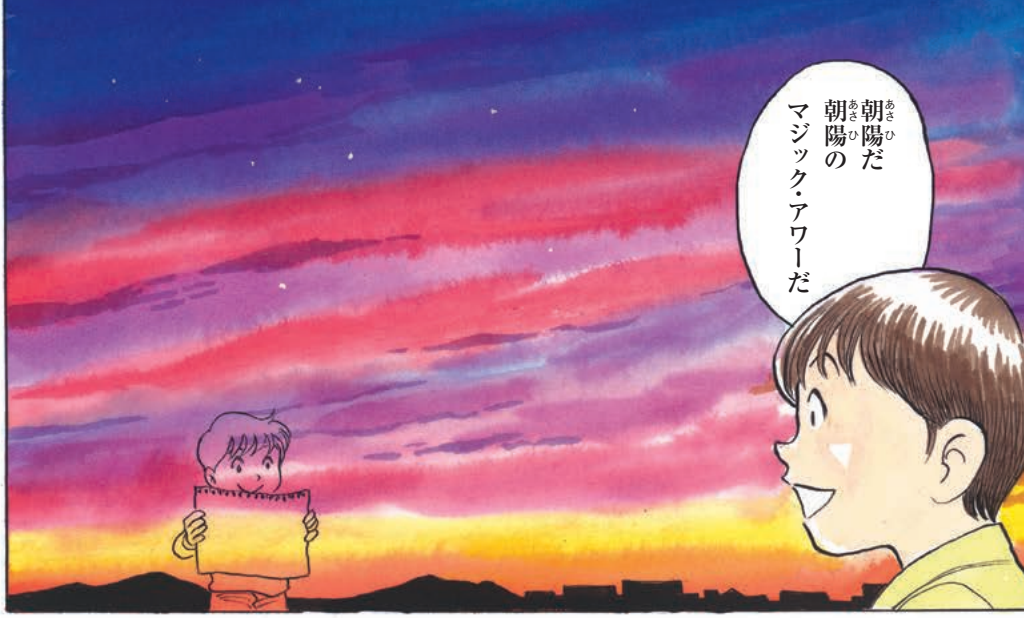
それが 感動ってもんさ

ンゴ〜
ちょっときつくいいすぎたかね

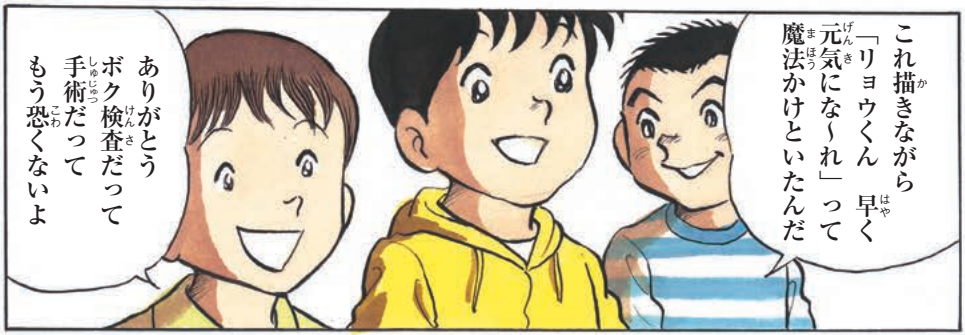
うむ…
夜中?…
あ

夕陽が沈む時と朝陽が出る時の少しの時間をマジック・アワーっていうんだよ
ハァ
ハァ
ハァ

ばあちゃん ばあちゃんの いってたこと なんだか少し わかったような 気がするよ
蓮く〜ん 遊ぼ！
今日は 遊べないよ
何で？ おっ それ あの コンクールの絵？ できたのか？
うひょ〜 図書券 図書券 おい どこへ 行くんだ!?
絵を学校に 持って いくのか？ 今日は 日曜だぞ
え？ 病院？ コンクールに出す んじゃないのか？
よっ
蓮くん タケルくん も…
ボク これを リョウくんに 見せたくて 描いたんだ


朝陽だ
朝陽の
マジック・アワーだ

蓮 かしてみろ
見やすい所に
オレ貼って
やるよ


これ描きながら
「リョウくん 早く
元気になれ」って
魔法かけといたんだ
ありがとう
ボク検査だって
手術だって
もう恐くないよ

**おしまい**

# 法音寺関連書籍のごあんない

## 青山書院刊　東京都杉並区西荻北5-4-1

### 妙法蓮華経略義　鈴木修学 著

A5版上製・863頁・定価6,000円（税込）

### 無量義経略義　鈴木修学 著

四六版上製・165頁・定価2,000円（税込）

### 仏説観普賢菩薩行法経略義

鈴木修学 著

四六版上製・165頁・定価2,000円（税込）

### 撰法華経略義　鈴木修学 著

A6版皮製・101頁・定価700円（税込）

### 仏教聖語の解説　鈴木修学 著

B6版・230頁・定価1,800円（税込）

### 道徳と宗教　鈴木修学 著

B6版・209頁・定価1,000円（税込）

### 教育まんが

B5判　平均64頁　定価各600円（税込）

八正道の話　因縁の話　菩薩行の話
功徳の話　お彼岸のはなし　十界の話
十王の話　定価1,000円（税込）

― その他多数。お問い合わせください。

## 山喜房佛書林刊　東京都文京区本郷5-28-5

### 鈴木修学先生の南無妙法蓮華経

浅井圓道 著

四六版上製・202頁・定価1,600円（税別）

### 大乗山法音寺三徳開教百年史

（1）安立大法尼の時代
A5版・490頁・定価4,000円（税別）

（2）宗玄大徳の時代
A5版・516頁・定価4,000円（税別）

（3）御開山上人の時代
A5版・628頁・定価6,000円（税別）

（4）第二世日達上人の時代
A5版・714頁・定価7,000円（税別）

（別巻）仏教感化救済会の信仰
A5版・272頁・定価3,000円（税別）

## 中央法規出版刊　東京都台東区台東3-29-1

### 福祉を築く　―鈴木修学の信仰と福祉―

西山茂・秦安雄・宇治谷義雄 共著

A5版・224頁・定価3,200円（税別）

### 日本の福祉を築いたお坊さん

星野貞一郎 著

新書版・160頁・定価800円（税別）

### まんが・法音寺物語

法音寺広報委員会　企画

上＝安立大法尼の時代
中＝宗玄大徳の時代
下＝御開山上人の時代
B5版・96頁総カラー・定価各巻1,000円（税別）

## 仏教タイムス社刊　東京都新宿区市谷田町2-7

### 大乗山法音寺の信仰と福祉

西山茂・小野文珖・清水海隆 共著

A5版・205頁・定価3,200円（税別）

### 凡夫を菩薩に転ずる僧伽

仏教タイムス編集部

A5版・132頁・定価800円（税込）

### 大乗山法音寺の源流と近現代仏教福祉

浜島典彦・清水海隆　共著

A5版・60頁・頒価500円（税込）

お問い合わせは法音寺寺務局、又は各支院・布教所にどうぞ…

# 自説誓言

一人を導く功徳は広大です
是非一人は導きましょう

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》


## 日蓮宗大乗山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3　TEL.052-831-7135
http://www.houonji.com　FAX.052-831-9801


**講話日**
**毎月7日・17日・27日**
**午後1時30分**

## 法音寺の社会福祉・教育事業

### 徳を昭（あき）らかにし、徳を以って世間を照らす

**社会福祉法人　昭　徳　会**

■児童養護施設
駒方寮
名古屋養育院
名古屋若松寮

■障がい児入所施設
小原学園

■障がい者支援施設
小原寮
泰山寮

■特別養護老人ホーム
安立荘
高浜安立荘
小原安立

■障がい福祉サービス事業
授産所高浜安立

■軽費老人ホーム（特定施設入居者生活介護事業）
ケアハウス高浜安立

■軽費老人ホーム
ケアハウス大阪安立

■養護老人ホーム
養護老人ホーム高浜安立

■自立援助ホーム
慈泉寮

■保育所
駒方保育園
光徳保育園
天王保育園

法人本部　〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10　TEL（052）831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

### 我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

**学校法人　日本福祉大学**

■日本福祉大学大学院
■日本福祉大学
■日本福祉大学中央福祉専門学校
■日本福祉大学付属高等学校

法人本部　〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6　TEL（0569）87-2211
http://www.n-fukushi.ac.jp


法音・平成29年3月号・No.569・平成29年3月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・（株）一誠社